運営会議たより

9月/2020年/NO.43

発行■特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）［鎌倉市市民活動センター指定管理者］
TEL0467-60-4555 FAX0467-61-3928 ■E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp ■http:// npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

■特集■P2～3

「コロナ禍での活動団体紹介」

2020年かまくら市民活動フェスティバル

鎌倉の今、そして未来へ

令和2年10月31日、11月1日の両日、たまなわ交流センターで鎌倉市からの指定管理事業の一環として「第22回 かまくら市民活動フェスティバル」を開催します。

言うまでもなく春からの新型コロナの猛威の中での開催が危ぶまれましたが、鎌倉の市民活動の隆盛を図る私たち運営会議の使命にそって、感染防止を強化しながらの開催としました。

今年のキャッチフレーズは「鎌倉の今、そして未来へ」です。そうです、今年は鎌倉の未来を決める「第3次鎌倉市総合計画」の「第4期基本計画」が発行された年です。運営会議では、市の基本計画をNPOの皆様、市民の皆様と共有する中で、市民活動の一層の支援を図っていきたいと考え、ジャストインタイムで開催されるこのフェスティバルで一連のクロストークセッションを実施します。登録団体の皆様において、鎌倉市の目指す方向を聞き、討議し、自分たちの活動に活かしませんか？

「鎌倉の今、そして未来へ」、若者に集まってもらいます。鎌倉の観光の品質、品位を上げる、そんな意識を持ち活動を企てている中学生、高校生も参加いただき、皆さんとの対話のチャンスの演出を企画しています。未来を創る若者と交わる、そんな素敵な空間ができればと企画しています。

登録団体の皆様のパネル展示、SDGs フォトコンテスト応募作品の展示と表彰式など、フェスティバルという呼称から想像されるような「楽しさ」、「お祭り」の要素はこの時節柄、さほど取り入れることができませんが、いくつかのワークショップも実施予定です。運営会議としても、2コマを確保し、今後の展開について登録団体の方と対話の準備を進めています。また、鎌倉の現在の山と海の現状を表す「立体物」の展示もお楽しみいただけると思います。

このコロナ禍の、厳重な感染防止を鎌倉市からも要請されています。来場、受講には事前登録が必要になります。詳細は別途発行するチラシなどをご参照ください。

副理事長　フェスティバル実行委員長　小島　政行

■*鎌倉市市民活動センター運営会議（以下、運営会議）は、*
市民活動団体支援を目的とするNPO中間支援組織です

■*運営会議は、鎌倉市 NPO センター（鎌倉・大船）2館の指定管理者です*

■*鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします*

コロナ禍での活動団体紹介

困難を乗り越えて

活動再開にこぎつけた二団体の体験談

コロナ禍で市民活動も自粛と停滞を余儀なくされましたが、緊急事態宣言解除を契機に多くの団体が活動再開に取り組んでいます。その中から2つの団体に体験をご報告いただきました。

NPO法人 鎌倉演劇鑑賞会

岡田美代子

私達NPO法人鎌倉演劇鑑賞会は観劇を通して人間らしい生き方に出会い、潤いと活力ある文化を拡げていく願いを持ち、自主的な活動をしています。コロナ禍のこのような時こそ「文化の灯」を絶対消したくない、劇団の自由な表現活動や私達の鑑賞運動を守っていきたいという思いは強く、今回の例会公演の実現で、活動再開の第一歩を踏み出すことができました。

4月7日、新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が発出され、劇場が使用不可になり劇団、鑑賞会の活動が全て停止状態。「この先芝居も観られないかも」と不安な日々でした。劇団の方も自宅待機での自己研鑽。動画配信で繋がろうした劇団もありました。資金繰りに走ったという話も聞き、大変心配しました。

鑑賞会では、4月・6月・8月の例会公演は、中止ではなく延期になりました。この間公演はありませんでしたが会費は毎月持ち寄り続けました。6月公演予定だった文化座「旅立つ家族」がいち早く9月に再開できたのも、劇団と鑑賞会の日頃の活動の成果です。再開は嬉しいけれど「本当にできるの」という不安の中、準備会を開きました。公演の裏方を担う17のサークルの打ち合わせ会も4回重ねました。密を避けるため公的に出されているガイドラインに則り、参加者は10人以下で時間も短縮して行いました。



そして公演当日に向けての準備、まずは座席数の確保を。収容人数は通常の50%。前3列は使用せず、各列の座席は一席毎の空席を作りました。また万が一の時の状況把握の為、事前に電話番号、氏名、サークル名を記入する参加券を発行しました。その参加券と座席番号の半券を回収することに。つぎに入場方法を。密を避けて混雑を防ぐため4つの入場時間帯を設けました。

公演当日は、開演前に座席等の消毒を実施。開場時には非接触型検温器による体温の測定、手指の消毒を行いました。測定者は手袋、フェイスシールド着用です。終演後の退場も、場内放送で指示、入場時同様4つに分けて誘導しました。



多くの制約の中、知恵を持ち寄り、各自が役割を果たし、大きな混乱もなく、例会公演を実現できました。

何よりもよかったのは、各会員が事前に配布された注意事項を守り「細心の注意を払って、静粛で密を避ける例会公演を実現しよう」と意識したことです。終演時、劇場は会員の両手を高く掲げた割れんばかりの拍手と達成感で光り輝く俳優さんの笑顔で溢れ、舞台と観客が一つになった瞬間でした。

ＮＰＯ法人鎌倉てらこや

事務局長　小木曽　駿

新型コロナウイルスが世界的に大流行し、それまでの私たちの生活様式を根本的に変えてしまってから、およそ半年が経過しました。小中学生の子どもたちを対象として、大学生のお兄さん・お姉さんと共に、鎌倉ならではの体験を届けるＮＰＯ法人鎌倉てらこやの活動も、２月末日以降、すべての通常活動を一旦自粛する事態となりました。

その後４月に入り、休業中の飲食店の多大なる協力を受け、換気の良い部屋での自習機会を提供する「てらこや自習室」（全33回）や、オンラインでの事業を実施しました。また、緊急事態宣言が解除されて以降は、感染防止対策を施した上で、屋外（公園）で思いっきり遊ぶ事業を週に一回程度実施するとともに、坐禅体験及び水鉄砲遊びの２本立てとなる建長寺様での１日イベント「暑さもコロナも吹き飛ばせ！」（８月８・９日）を実施してまいりました。

これまで自粛してきた、鎌倉市の学童保育施設に大学生が遊びに行く活動も、８月以降、徐々に活動を再開し始めています。



それまで当たり前であった、毎日の子どもたちとの関わりが失われてから、「子どもたちと大学生のお兄さん・お姉さんが、ただひたすらに本気で関わる」という私たちの活動は、はたして子どもたちにとって不要不急のものであったのだろうかという思いが、去来していました。

そうした折、上記の「てらこや自習室」にある男の子からのお申込みが入りました。彼は、自習室にやってきても、ぼーっとしたり、絵を描いていたりと、自習しているようにはとても見えません。しかしそれでも、必ず開室時間の10時きっかりにやってきては、夕方まで共に同じ時間を過ごし、時間になると「バイバイ」といって別れるのです。

どうして彼が、毎日「自習室」に通い続けてくれていたのかはわかりません。しかし、学校が休校となり、気ままな外出もままならない彼の閉塞感やストレスを、少しでも和らげることはできたのかもしれません。大人ですら大きな不安やストレスを感じざるを得ない昨今において、子どもたちも大人以上に、大きく影響を受けていることは想像に難くありません。子どもたちの心を和らげる活動として、私たちの「てらこや」事業は、決して「不要不急」ではなく、子どもたちにとって必要なものであるという思いを強くしています。



こうした思いから、密を避け、手洗い・消毒の徹底、スタッフの毎日の検温の実施等による感染防止対策を施した上で、「with コロナ時代」に対応した「新しい鎌倉てらこや活動」を、工夫を重ねながら今後とも実施してまいる所存です。

【第一回　全員会議を開催します】

コロナ禍に明け暮れた２０１０年上半期の活動を振り返り、全員会議を左記のように開催いたします。本来ならば広く会員の皆さまのご参加をお呼びかけすべきところですが、今般の状況に鑑み、定員を30名までとして感染拡大防止策をとりながらの縮小開催といたしますことをご了承ください。つきましては、ご参加いただける方は10月10日（土）までにＮＰＯセンター大船までお知らせ頂きますようお願いいたします。また定員になり次第受付を終了いたします。ご参加できない会員の皆さまには後日ホームページ、メールなどで会議の模様をお知らせいたします。

日　時	10月17日（土）15：00～16：30
場　所	たまなわ交流センター　２階 第３集会室 （NPOセンター大船２階）
議　題	１．新役員の紹介 ２．令和２年度上期事業報告 ３．意見交換
申込み	NPOセンター大船　0467-42-0345

【新入会員向ガイダンスを行います】

このたび新入会員の皆さまを対象としたガイダンスを左記のように企画いたしました。このガイダンスでは当法人の成り立ち、理念、組織、活動について理解を深めることを狙いとしております。また、当法人は各部会の自主的な活動を基盤としておりますが、さらにそれを支えるのは会員個々人の「思い」と「やりがい」です。活動がどうしても不活発になるコロナ禍の状況下、こうしたモチベーションを維持するために改めて会員相互の理解や協力関係を育む場としてもこのガイダンスを活用したいと思います。

新入会員の皆さまには是非ご参集下さいますようお願いいたします。なお、感染拡大防止対策を行う関係上、席数に限りがありますのでお早めにお申し込みください。

日　時	10月17日（土） 13：00～14：30
場　所	たまなわ交流センター　２階 第３集会室 （NPOセンター大船２階）
申込み	NPOセンター大船 0467-42-0345

【オンライン会議を導入しませんか】

今、オンライン会議を活動に取り入れている団体が増えてきています。会場予約の必要がない、移動時間や移動のための費用が削減できる、密にならずに多人数で会議ができる、などオンライン会議のメリットを活かして感染リスクを下げながら、コロナ禍であきらめていた会合や講座を開催できるようになります。新しい生活様式が求められている今、活動を続けるための手段を増やしてみましょう。センターでは初めて経験する方を対象にした講座を開いています。

詳しくはセンターホームページのイベント情報またはチラシをご覧ください。



会　員　募　集

運営会議は会員によって支えられています。入会随時です。

〈会費〉
正 会 員
　個人正会員　2,000円
　団体正会員　3,000円
賛助会員
　個人1,000円、２口以上
　団体1,000円、３口以上

正会員数	90名
団体正会員数	11団体
賛助会員数	25名
賛助団体数	１９５団体

（9月末現在）

鎌倉市市民活動センター運営会議は「認定NPO法人」格を取得しています
“あなたのご寄附が、鎌倉の街を元気にします”
ご寄附いただいた場合、「寄附金控除」制度が適用され、確定申告で税金の還付が受けられます
お問合せはNPOセンター鎌倉まで！！